



## 決勝レポート

### 2023/4/8 Rd-1 FUJI Speedway

天候：晴れ 気温：18℃ 出走台数：22台

土曜日に Rd1、日曜日に Rd2、の 2 レース制で開催される開幕戦第 1 大会富士スピードウェイ。新型車両 SF23 とサステナブル素材採用の新ヨコハマタイヤで迎える初めての決勝レース。SF23 のエアロ特性や、新タイヤの摩耗状態など、テストデータ無い中で迎える初物尽くしの決勝レースとなる。

給油禁止、タイヤ交換義務ありというルールで 41 週の開幕戦はスタートを迎えた。

牧野選手は素晴らしいスタートで一気に 4 台をオーバーテイクし 8 番手。1 コーナーでは 3 台が絡むアクシデントも発生した。一方、レーススタートでは太田選手を含む 4 台がエンジンストールする波乱の幕開けとなった。

2 周目 7 番手を走る坪井選手に 1 コーナー手前でオーバーテイクを仕掛けた牧野選手だったが、走行ラインが交錯し追突。破損部品がコース上に散乱したため、セーフティカー

(以下 SC) が導入された。このクラッシュで坪井選手はリタイヤ。牧野選手もマシンにダメージを負いピットイン。フロントウィングを交換し 16 番手でコースに復帰した。

リスタートを切った太田選手は、周回遅れの 18 番手。

入賞圏内を目指してプッシュする牧野選手だったが、坪井選手とのクラッシュに対して 5 秒間のピットストップペナルティが課されポジションダウン。

35 周目 1 コーナーの 2 台の接触により 2 度目の SC 導入されると、牧野選手はタイヤ交換のためピットイン。14 番手でコースに復帰したが、クラッシュした 2 台のマシン回収に時間がかかってしまい、SC 先導のまま、牧野選手 14 位、太田選手は 15 位でチェッカーを受けた。

#### 5：牧野任祐 14 位

スタートはとても良くて、ポジションを上げることが出来ました。しかし、2 周目の 1 コーナーでオーバーテイクを仕掛けた際にラインが交錯して追突することになり、ペナルティもあって勝負権を失ってしまいました。ただ幸いにも走行を続けることはできたので、ロングランのデータも取れ、課題も見える部分がありました。

今日の結果を検証し、明日のレースで挽回したいと思います。

#### 6：太田格之進選手 15 位

スタートシステムのセットアップがまだ定まっておらず、スタートでエンジンストールをしてしまいました。この時点で周回遅れとなってしまいましたが、テストも一切出していない状況だったので、この 41 周を走り切って SF23 を学ぼうと気持ちを切り替えて走りました。明日は、車も自分自身もアジャストして、予選 決勝レースと気持ちを切り替えて臨みます。